

第5回帖佐駅周辺地区 まちづくりワークショップ

～ワークショップ内容 及び結果報告～

令和7年11月

～当日の流れ～

1. はじめに
2. これまでのワークショップの振り返り
3. 先進事例についてのご講演
4. 本日の内容説明
5. ワークショップの開催
6. グループごとの発表
7. 講評・まとめ



第5回ワークショップの概要

開催日時	R7.11.8(土) 13時半～16時半 市役所1階 多目的ホール
参加者	観光協会、市内在住の市民(居住者や事業者等) 15名
開催テーマ	帖佐駅周辺地区でやりたいこと・できることを考えよう！
検討内容 の概要	1. 先進事例についてのご講演 一般社団法人 地域力創造デザインセンター・高尾 忠志 代表理事をゲストにお呼びし、駅周辺の整備をきっかけ にして、市民が主体となったまちづくりのチャレンジが 実現している事例について、ご紹介いただきました。 2. ワークショップ 来年度以降に「まちづくり社会実験」を実施することを想定し、帖佐駅 周辺地区でやってみたいプロジェクトについて以下の視点で検討。 まずは、参加者個人で検討後、グループで共有し、意見交換を実施 ①つながり(誰の取り組みか。誰と誰の関係を深くする取り組みか。) ②場づくり(つながり・交流を生み市民がチャレンジできるための場づくり) ③仕組み(実行する仲間づくりや組織作り、役割分担、継続する仕組みなど)



ワークショップ・発表の様子



各班の意見概要

■ 1 班のプロジェクトアイデア

「始良の日常と非日常」 人がまちを歩きたくなる日常づくり、非日常を日常にする
⇒多くの人の目につく、駅前や駅前通りを多世代や多属性(地域や自治会、青年部、高校など)が集まる場所へ

	プロジェクトのアイデア	つなげるもの≡仕組み	開催場所
日常の風景をつくる	・蒲生の大楠を挿し木して、帖佐駅前に蒲生とのつながりをつくりたい(シンボルツリーを蒲生の大楠の子孫にしたい)	・駅周辺の住民と周辺地域	・駅前広場・駅前通り
	・毎年恒例! 駅前に出店するカフェを市民投票で選びたい	・来訪者	・駅前広場・駅前通り
	・学生の作品を展示し、若者が積極的に自己表現できる場をつくりたい	・市民と学生	・帖佐駅の待合スペース
	・意見募集箱を設置		・帖佐駅
非日常を日常にする	・月に何度か定例のイベントデーを設けて、今週(今日)は何かな?と楽しみをもてようにしたい 例:マルシェ、フリマ、子ども&大人飲み会、パンマーケット、ラーメン博、加治木まんじゅう市、有機農産市、手作り隊、ダンスデー、ワンニャンデー、車輪の日(ベビーカー、車いす利用者、自転車、手押し車)、音楽の日(吹奏楽・バンド)、高校生マルシェ・WS、ネイルサロン、イルミネーションなど ※参考:鹿児島中央駅アミュ広場(あいぱく、クリスマスマーケット、鹿児島県物産市、イルミネーション点灯など)		
	・臨時のシャトルバスあるいはデマンドタクシー等の導入で周辺地域からも気軽にアクセスできるようにしたい	・日常利用客の広がり ・これまで帖佐駅に行きたくても行きづらかった人	
非日常を楽しむ	・歩行者天国にして、普段道路でできないことを体験したい! 例:スポーツ大会(3on3、市民対抗帖佐駅伝、ドミノ大会、綱を作って綱引き大会)	・市民の欲求を高次へ ・自治会など地域のつながり(消滅した青年団の復活)	
	・各高校の文化発表の場をつくりたい ・工作(椅子づくり)教室、eスポーツ大会、ロボコン体験など、イオンで開催しているものをまちなかで	・高校生どうし ・市民と高校生	・まちなか
	・市内各地域に残る太鼓文化を披露する場をつくりたい	・太鼓演者	

■ 2 班のプロジェクトアイデア

町のことを知らない人が多いので、定期的なイベントを開催するなど、活動を見える化し、情報発信(ひとめで分かる仕組みづくり)

- ・既存の公民館や公園を使いやすくリニューアルして活用する
- ・プロジェクトには当日までの準備委員会がとても大切であり、ここから携わってくれる人が少人数からでも必須

	プロジェクトのアイデア	つなげるもの	開催場所	仕組み
	・まちを元気にしたいと思っている人を発見する、知るきっかけになるプロジェクトを開催したい ・市内4か所で開催している文化祭を学生や子どもたちも巻き込んで、1か所で開催したい	・青少年(子ども～20代) ・出店者同士、業者同士の関係 ・来てくれる人も協力者・お迎え側になるように実行委員がつながり、若い世代の育成へつなげる		・目的を明確にして、思いを共有しながら進める ・準備委員会を設置 ・企画運営する中心メンバー+実行する人+お手伝いする人+資金面を考える人 ・小さな単位からのスタートが取り組みの責任もつてくる
	・街づくりに興味のある市民が継続して「つながり」を持続できる仕組みとして、まちの学校をつくり、まちの部活として活動をつくりたい 部活の例: ・市民参加型のものづくり ・釣り部・料理部など、やってみたくてやっていないテーマ ・特産品(帖佐人形など)・名所・食材など地域資源のリブランディング ・まちの歴史、まちの人々の暮らしを伝える講座(高齢者から子どもへ引き継ぐ)	・多世代の市民 ・外部と地元(子ども・少年・若者・中年・高齢者) ・同じ趣味の人	・イオンのイベントスペース活用 ・公民館 ・空き家をリノベーションした交流できるイベントスペース・サロン ・「まちの学校」的なコンセプトで市民参加型のもの作りを促進 ・市からの委託でショップを作る	・仲間たちで実行する催しの回数を増やし、月2～3回は顔を合わせるようにする
	・地域の人と生産者をつなぐイベントを開催したい 例:パン屋・コーヒー・花屋・有機野菜・魚※加治木港で毎月第一日曜開催「朝市」の拡大版	・地域と生産者	・空き店舗・空き家を利用したチャレンジショップ	・事業を応援し、後継者づくり
	・テーマを絞ったイベント・フェス・マルシェを開催して、多くの人を集めたい 例:肉・ラーメン・犬猫・カレー・タイ料理など ・屋台村を開催して、ベッドタウンでも飲めるまちにしたい ・史跡・文化財の多さを活かして、人々の暮らしの歴史・文化を学びながら街を歩き、沿道店舗に立ち寄りたり、休憩したり、ランチを食べたい(まちなかうオーキング)	・外部の人(プレイヤー・参加者とも)	・宮島東公園・宮島西公園	

各班の意見概要

■ 3班のプロジェクトアイデア

駅前を「やりたいことを実現できる場所」へ

- ・やりたいことがある人は実はたくさんいる！飲食店や店舗、イベントなど、やってみたい！を実現できる環境や、こんなことをやりたいけど、どうしたらいい？を解決できる場をつくりたい
- ・今回のWSのように、色んな分野の人が集まって話をしたり、分野ごとに集まったり、定期的に相談したりする場所があるとよい
- ・サポーター登録制度により、興味や各人の状況によって気軽に関わることができる仕組み
- ・資金確保のために、ふるさと納税やクラウドファンディングを活用するなど、市外へ出てしまった方もつながり、応援できる仕組み

	プロジェクトのアイデア	つなげるもの	開催場所	仕組み
情報発信	・駅前のマップをつくりたい 【マップに載せるアイデアの例】 ・駅前通りなど、主要な通り5〜7つ程度、通り名を決める ・各人が好きな、桜島が見えるスポットの紹介 ・おすすめの整骨院	・市内の店舗などの経営者 ・市民・市外の人 ・始良に移住してきた人 ・編集を学びたい人（作り手） ・始良在住や、ゆかりのあるイラストレーター・カメラマン・動画クリエイター・デザイナー・編集ライター		・市民参加型WS開催 ・クラウドファンディング活用 ・アプリやWEB活用により常にフレッシュな情報を提供
	・生涯学習講座やワークショップをまとめたガイドブックをつくりたい ※蒲生でやっている「カモコレ」を始良エリアでも実施するイメージ	・各ワークショップをやる人 ・地域の歴史や文化を知りたい人 ・子ども等次世代への継承		
	・始良のことを発信する本をつくりたい ・市広報誌に記載のあいら人インタビュー記事の書籍化（ZINE※の作成） ・※ZINE（ジン）…個人や少人数で自由に制作する小冊子	・始良の面白い人材や取り組みを知りたい人 ・始良のガイド・PRIにもなる ・中高生にインタビュー体験をもらい、中高生とつなげる		・中高生の授業（取材・記事執筆体験）
イベントの開催	・帖佐駅からイオンまでの通りを歩行者天国にしてイベントを開催したい！ ・例：パレード、ハロウィンイベント、車（ハーレー）、 ・みこし、学園祭（地域会、自治会）、発表会、 ・コンサート、歌・音楽、おはら祭り、 ・食（お肉・お魚・おでん・から揚げ・餃子）	・自治会 ・学校（小・中・高校） ・市外の方 ・市内にいるプレイヤーどうし ・飲食店 ・企業と顧客 ・子育て世代	・短期的には、宮島西公園（駐車場は市役所を活用）や宮島東公園（駐車場は公民館を活用）を活用 ・長期的には駅前広場や駅前通りを活用 ・帖佐駅舎の事務所（＋オンライン）を実行委員会のオフィスとして活用 ⇒駅前広場や駅前通りの完成には時間がかかるので、既存の施設を活用してやってみる	・窓口をつくって、まずは“やりたい人”が窓口相談して実現していく ・実行委員会の設立（常勤＋パート、市役所、JR）
場づくり	・気軽に立ち寄れる場所をつくりたい - 例：飲食店、勉強スペース、物産店（野菜・パン）、交流スペース	・学生 ・駅への送迎で利用する人		